

2009年度後期「高校生のための特別講座（全5回）」実施予定と講義要旨

主催：大分大学経済学部

共催：東京大学教養学部

日時：第3水曜日 16:30～17:30（第5回のみ金曜日 17:30～19:00）

遠隔配信先：大分雄城台高校、大分商業高校、日田高校、安心院高校

概要

本講座は、5名の大分大学教員がリレー方式で高校生向けに開講する特別講座です。経済学・経営学・地域研究・歴史学のエッセンスを短時間でわかりやすく学習できます。なお第5回目は東京大学が行う高校生向けの講座を本学教員が担当し、本学から配信するものです。配信先は東京大学の教室及び全国の約30の高校です。

第1回 2009年10月21日（水）16.30-17.30

場所：大分大学経済学部203号教室

会場受講生：大分鶴崎高校生20名

遠隔配信受講生：30名

元気な地域を作る

宮町良広（経済学部教授）

大分県は地域づくりの先進県として知られています。由布市湯布院町は全国からたくさんのお客さんが集まるあこがれの温泉観光地ですが、有名になったのは今から30年ほど前のことです。それ以前は「奥別府」と呼ばれていました。別府の奥にある名もない温泉地、ということですね。なぜ湯布院は有名観光地になったのでしょうか。その歴史をたどると、地元の人たちによる地域づくりのさまざまな努力があることがわかります。この講義では、どのようにしたら元気な地域ができるのかを湯布院町を参考にしながら考えてみましょう。

第2回 2009年11月18日（水）16.30-17.30

場所：大分大学経済学部203号教室

会場受講生：大分南高校生20名

遠隔配信受講生：30名

くちこみが購買意図決定プロセスに及ぼす影響

松岡輝美（経済学部准教授）

インターネットは、消費者にとって、情報の収集だけにとどまらず、購入した商品についての感想を発信する手段としても利用されるようになりました。消費者視点でのくちこみは、時として広告よりも大きな影響力を有し、他者の消費行動に影響を及ぼすようになっていきました。こうした消費者発信型メディアの発達は、企業にとっては好機にも脅威にもなりますが、この講義では、web上のくちこみはどういった場合にどのように消費者の購買意図決定に影響するか、そのメカニズムを解説していきます。

第3回 2009年12月16日（水）16.30-17.30

場所：大分雄城台高校視聴覚室

会場受講生：大分雄城台高校生20名

遠隔配信受講生：30名

情報通信技術と空間：インターネットは距離の制約をなくすのか

中澤高志（経済学部准教授）

情報通信技術が発達したからこそ、私は大分大学に居ながらにして、皆さんに講義をすることができます。インターネットを使うことによって、私たちは「距離の制約」を受けずに、情報を送ったり受け取ったりすることができます。しかし同時に情報通信技術は、新しい種類の「距離の制約」を生み出すことになりました。この講義では、情報通信技術が作るネットワー

クの空間と現実の空間との決定的な違いについてお話しします。

第4回 2010年1月20日(水) 16.30-17.30

場所：大分大学経済学部203号教室

会場受講生：大分舞鶴高校生20名

遠隔配信受講生：30名

映画で入門！経済学

佐藤隆（経済学部准教授）

この講義では、数式やグラフを使う代わりに、映画という身近な題材を使って、経済の仕組みと経済学の考え方について学んでいきます。当日は実際に映画の一場面を経済学的に読み解いていきたいと思います。この授業は、映画を使った経済学の入門講義ですが、経済学をマスターすれば普通の人と違った観点から物事を見ることができるということを伝える講義でもあります。それでは、授業の開幕まで今しばらくお待ち下さい！

第5回 2010年2月12日(金) 17.30-19.00

場所：大分大学教育福祉科学部303号教室

会場受講生：大分舞鶴高校生20名

遠隔配信受講生：30名

東京大学の教室および同大経由で全国30高校にも配信

異文化の翻訳—前野良沢と志筑忠雄の仕事

鳥井裕美子（教育福祉科学部教授）

いわゆる「鎖国」時代の日本は、オランダを介して世界の商品や情報を入手し、日本の鉱産資源・商品を世界に輸出しましたが、西洋の医学・科学技術等を研究する際の媒介言語もオランダ語でした。長崎通詞や蘭学者により、歴大な蘭書が日本語に訳され、それが近代化の基礎となったのですが、彼らはどのようにオランダ語を学び、異質な概念を翻訳したのでしょうか。

今回は、『解体新書』訳述のリーダーで、オランダ語研究、ロシア研究でも先駆的な業績を

あげた前野良沢と、「鎖国」という日本語を造り、西洋文法、ニュートン力学の研究でも後世に影響を及ぼした志筑忠雄を、時代背景とともに取り上げます。ふたりに共通するのは、「日本意識」と「真実探求への執念」です。